

陽明高校

* 高専接続キャリア教育プログラム(4-5月) *

文科省事業による本プログラムを、琉球リハビリテーション学院と連携し取り組んでいます。

1年生「産社」で全クラスに行い、2,3年で「福祉」だけではなく「**体育**」を加え、社&介福、看護、セラピスト等を志す対人援助職の学び **“YOMEI STYLE”** を琉リハさんと構築していく予定です。

令和4年度 1年次『産業社会と人間』年間授業計画

テーマ	自分探し					
学習の目的	産業社会やその中の自己の在り方生き方について認識させ、豊かな社会を築くために積極的に寄与する意欲や態度の育成を図る					
学習の目標	職業の選択決定に必要な能力・態度、将来の職業生活に必要な態度やコミュニケーション能力を養うとともに、自己の充実や生きがいを目指し、生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度の育てる。					
回	月	学習テーマ	学習内容	学習形態	評価の観点	備考
1	4	オリエンテーション	産業社会と人間/総合学科について(資質・能力を身につける)	HR単位	B	
2		文章表現/学び	なぜ、学ぶのか(ミライの授業)・批判的思考トレーニング	小講座	C	(講義・討議・発表)
3	5	自己理解①	科目選択に向けて①(ガイダンス室紹介/系列を知る・選択科目を知る)	小講座	B/D	科目履修ハンドブック/VRゴーグル
4		自己理解③	科目選択に向けて③(職業の業種を知る/授業動画視聴)	小講座	B/D	ゴーグルの使い方も確認できる!
5	6	自己理解④	人の認知の仕方・リフレーミング・意味付け	小講座	A/B	
6		自己理解⑤	エゴグラム(交流分析)	小講座	A/B	
7		社会を知る①	超高齢化社会ってなに?(現状と課題)	小講座	B/D	外部講師 VRゴーグル(琉リハ)
8	7	社会を知る②	体験学習(まちづくりの視点を通して)	小講座	A/C	外部講師(社協)
9		社会を知る③	Society5.0(5GにおけるDX・AI・ロボット)	小講座	A/C	外部講師(琉リハ)
10		社会を知る④	IT業界の現状と未来	小講座	A/C	外部講師(沖女)

『産業社会と人間』

・VRを用いた進路ガイダンス室紹介&職業紹介動画

コロナ禍における感染症対策として、360°カメラを用いたVR動画の作成をし、VRゴーグルを用いて、よりリアルな進路ガイダンス室の紹介を行った。感染対策としてももちろんだが、生徒に最新機器を用いたことで生徒達の発想力・思考力を刺激することをねらいの1つとして授業を実施した。

下記の写真は、1人がVR動画を視聴している間、隣の生徒は職業紹介動画をchrome bookを用いて、視聴するワークを実施している様子。



VR視聴後の職業紹介動画視聴の様子



・高齢化社会と対人援助職について

(社会を知るの学習テーマの1つとして、外部講師を招いた社会の現状をよりリアルに感じ・体験することを進路意識を喚起することを目的としている。)

この学習では生徒がなりたい職業を考えるきっかけづくりとして、VRを活用した様々な職業を体験し、職業に対する理解をすることを目標としている。また、直接人に関わる職業について考え、対人援助と職種について理解していく。



『総合的な探究の時間』

・コミュニケーションワーク（自分を知ろう、伝えよう）

クラス作り、自己表出・自己表現の場として取り組んだ。各授業における対話的で深い学びへとつながるためのコミュニケーションの取り方について学ぶことを目的とした。

ウォーミングアップとして、提示した題材に沿ってグループを作るワークを全体で行った。それぞれに感じていること・捉えていることが異なることを感じる事ができた。10名グループに別れ、コミュニケーションタイプの違いを説明・確認することで、10名の中でもそれぞれが異なることを理解した。最後にクラスワークとしてビニールシートとボールを用いて、どのクラスが一番高くボールを上げることができることを競った。その中で、互いに心を通わせる・協力することの大切さを感じる事ができた。

